

学校だより

8月号



三中HP

アクセス
QRコード

それゆけ三中

令和4年7月20日

足利市立第三中学校

生徒数：210名

発行者：高木秀和

教育目標：より確かに・より豊かに・より逞しく

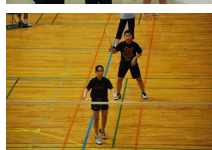
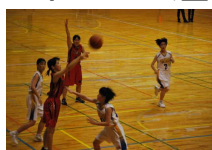
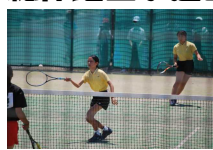


6月末に続いた猛暑日も7/3の地区総体後はやや影を潜め、梅雨の戻りのような曇天と雨に地域の水田は豊かな水面をたたえ、短い稲の穂先が揺れています。紫陽花から朝顔へと路肩の彩りは移り、蝉の声も学舎に響いています。

先週、今学期最終の資源回収が行われ、朝早くから生徒と教職員が協力して回収と分別に汗を流しました。また、特別支援学級では収穫した野菜を使ってジャーマンポテトなど工夫を加えた調理から食材の特性を学んでいます。第1学期、生徒は授業や行事をとおして着実にひとまわり成長しました。これも保護者皆様、地域の方々の温かい見守りと支援のおかげです。ありがとうございました。第2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



総体地区予選会7/1(金)～7/18(日)



今年度の地区総体は一週間早い開催となりました。3年生にとっては最後の中体連公式戦であり、コロナ禍の中、様々な逆境を思考と工夫で乗り越え練習に励んできた集大成の場です。どの部活動も、チーム全員が心を一つに熱戦を繰り広げました。地区での上位入賞は誇らしく、そこに至るまでの日々を努力を大いに讃えます。また、目指した戦績が残せなかった人には、大切なのは「結果ではなくそこに至る過程」という言葉を贈ります。さらに、競技によりますが3年間部活を続けながら控えとして応援や補助に徹した人、あなたの支えがあるからチームが戦えたのです。本当にありがとうございました。今回、大会会場を巡回する中、はっとする言葉を耳にしました。試合に敗れロビーに出てきた一人の選手、噛みしめた口元、潤んだ目が、悔しさ残念さに溢れていたのですが、集まってい

た保護者、顧問が視界に入ると、瞬間に笑みを浮かべ「思い存分試合ができて楽しかったです、今までありがとうございました」とお礼を言いました。自分の辛さ、思いより、支えてくれた人への感謝を優先するその姿に、一つの競技をとおして培われた素晴らしい人間性を感じ、大変うれしく誇らしく思いました。夏休み県大会に出場する皆さん、選手、控えともに全力でそれぞれのステージに立ってください。健闘を祈ります。

吹奏楽フェスティバル 7/18(月)



演奏曲①「アムューズメント・パーク組曲第1楽章 エントランス」②「明日へ吹く風」

指揮、3333先生、演奏部員10名 ステージ中央、半円状に座した10名は指揮者と一体となり、心地よく伸びやかな演奏をホールに奏でました。「エントランス」では遊園地に入場する前のような高揚感をおぼえました。「明日へ吹く風」はまさに時間を追っての物語のように、目の前を吹き抜ける風が朝の静けさから昼の陽気な光景の中かを、そして夕風に風は止み、再び深い夜の帳を越え明日へ、さらに未来へと吹き抜けていくような、音のマジックに包まれました。大変感動しました。



学期修業式 学年代表の言葉(1学期の反省と夏休みの抱負)

1年1組 ■■■■■さん 頑張ったことは「授業の受け方」、先生の言ったことをメモしたり後から見やすいようにノートをとったりした。反省点は「一つ一つの行動」、今学期行動が遅かったり、しゃべっていたりすることがあった。よい点は活かし、改める点は精一杯頑張っていきたい。

2年1組 ■■■■■くん 頑張ったことは、部活動、後輩に準備や片付け、バレーの基本を教えた、より先輩として自覚を持つ。勉強は気が抜けてきたが、将来のためにその価値を認識した、少しずつ頑張る。夏休み、時間を大事に使って勉強の取り返し期間に、1学期の反省を活かしたい。

3年2組 ■■■■■さん 頑張ったこと2つ。県大会を目標に卓球部の練習に励み、団体、ダブルスで叶った。県総体では悔いのない試合をしたい。自主学習では、ワークや復習を頑張った。今後はより集中して勉強する。夏休みの宿題を早めに終わらせて、本格的な受験勉強を始めたい。



学校公開7/4(月)～6(水) ネット・リテラシー講演会、PTA学年部会7/6(水)



学校公開では保護者様のご来校ありがとうございました。最終日にはネット・リテラシーの講演会をリモートで実施し、保護者様にも別室にてご覧いただきました。講師の■■■■■先生からは、ネットに潜む危険性を具体的な実例から教えていただくと同時に、今や欠かせないネット利用を、人と人の繋がりとして有効活用する術を温かいメッセージとして受け取りました。



生徒集会①夏に向けての意気込み【各部長より】6/27(月) ②リモート・レク大会7/6(水)

①生徒会本部の企画で、地区総体、コンテスト、卒業制作などに向けた各部活動の取り組みと志を部長さんがリモートで述べました。夏に向け、部活に所属せずとも、各競技や習い事をしている人へのエールも含めての「チーム三中」を勢いづけるとてもいい機会になりました。②さらに、生徒集会としてリモートを活用した、全校レクを朝の短い時間で実施しました。コロナ禍での感染防止を踏まえ、「無言でなおかつ全員で協力して楽しむ」こんな難題をクリアした、誕生日ごとに並んでのサークルづくり、そこからのジェスチャーゲームと、楽しい上に見事なレクでした。さらに、入賞クラスを讃える結果発表と表彰は昼の放送で行うなど本部役員さんたちの創意と工夫、その企画力に脱帽する思いです。クラスの全員が一つになれる良い機会をありがとうございました。



第三中学校区健全育成連絡協議会 7/8(金)

三中地区健連協は3年ぶりの開催となりました。桜小、東山小、三中のPTA会長さん、地域の主任児童員さん、体協、育成会、自治会等から委員の方に三中にお集まりいただき、地域で児童・生徒を見守り健全に育成することを目的に会議を進めました。言わば、生徒皆さんの地域の応援団です。皆さんを、温かく見守っている地域の方々に感謝しましょう。



学校評議員会①7/15(金)

令和4年度 学校評議員(敬称略)

1	千歳地区民生委員
2	元人権擁護委員
3	三中PTA顧問
4	三中PTA顧問
5	三中PTA会長

第1回学校評議員会を開催しました。各クラスの授業を参観し、生徒の活発な意見交換や学び合う姿にお褒めの言葉をいただきました。また、第三中学校への意見や感想をいただきました。今後も評議員さんのご意見から、より開かれた学校づくりに努めていきます。



研究授業 先生 6/29(水)

生徒が、自ら学び、自ら考え、自分を表現できるようになることを目標に、本校では研究授業を推進しています。本年度のスタートとして、先生が2年2組で音楽の研究授業を行いました。冒頭の歌唱から生徒は伸びやかな歌声で授業の雰囲気は高まり、先生の工夫を凝らした段階的な指導のもと、生徒はサンタルチアを「イタリア語で歌う」というねらいを達成していました。

2年生 思春期講座・1年生 論語素読 7/8(水)



2年 思春期講座

2年生の思春期講座では、保健師の先生、先生を講師にお迎えし、命の大切さについて、胎児や赤ちゃんの実際の体重を体感できる人形やビデオ視聴等様々な面から講義をいただきました。また、論語素読体験はビデオ視聴により、論語と足利学校、足利市についても広く学ぶことができました。今後の素読に深みが増すと思います。



1年 論語素読体験

夏休み公民館で学習できます！！

学習環境を変えることで、集中できることもあります。期間は7/21から8/31の月曜日から金曜日、時間は午前9時から12時、午後1時から4時です。利用の場合は事前にTELしてください。助戸公民館 TEL0284-44-0791

5つの出来事

①「交通公園」：夕方、二人の少年が交通公園でサッカーをして、一人の少年がポケットに入れておいた家の鍵をなくしてしまいました。日も暮れ草むらは薄暗くなり、夜になったら見つかるのは無理だろうと諦めかけていたその時、通りかかった友人が鍵探しに加わりました。その後別の仲間が加わり、通りかかった保護者や状況を聞いた人というように、気がつけば交通公園には20人近くの人が集まり、全員で草むらの中に落ちた鍵を探していました。やがて、陽は完全に沈み草むらを照らすスマホや懐中電灯の明かりが公園内を交差していました。途中鍵をなくした少年のお母さんもやって来て、「家の鍵は他にもありますから、これ以上ご迷惑を…」と言いました。すると「家の鍵が見つからないなんて物騒だし、心配でしょう、見つかるまで探しましょう」との声に皆うなずき、捜査は続行したのです。やがて、「あった！」との声に、公園内には歓声があがりました。午後8時過ぎ、およそ3時間が経過しています。その場には、一つの連帯感ができていました。②「竹筒ミスト」：昨年、教頭先生と先生が夏の暑さを和らげるために作った手製の竹筒ミストが昇降口前にあります。ある朝、一人の少年がその竹筒ミストの筒から噴霧される水の出方がおかしいことに気づきました。しばらく観察していると、これなら自分にも修理できそうだと思い、実際になおしてくれたのです。そして、翌日もその少年は、残った不具合を見つけ、再び修理をしました。③「学年部会準備・片付け」：学年部会の準備が遅れているのを知った3年生の11人の生徒が昼休みを利用して、保護者会場を設営してくれました。テキパキと椅子を運び整然と並べ、また、綺麗に拭きと見事な手際と気配りでした。翌朝には、その中の一人が早朝に登校して設営した会場を元に戻してくれたのです。④「給食準備中」：1年生のあるクラスで、配膳台の脚が外れ、おかずが全て床にこぼれてしまいました。ドン！という音、床に広がるおかず、一瞬皆の動きは止まりましたが、すぐに数名の生徒がこぼれたおかずを素手でかき集めました。「手が空いている人は配るの手伝って！」との声も響き、全員が率先して動きました。⑤「水遊び注意」：竹筒ミストの下で水遊びをしている少年達がいきました。通りかかった3年生が2人、それはやり過ぎて、竹筒ミストが壊れてしまうから止めるよう声をかけました。少年達は夢中で、その声に気づかず遊び続けている所へ、別の3年生がやって来ました。そして、再度、呼びかけると、その声は少年達に届き、少年達はやり過ぎたなというように、遊びを止めました。★「誰かのため」という思いはとても素敵です。「誰かのため」から、温かさや人と人との繋がりが生まれます。三中では77名の生徒が中学生ボランティアに登録しています。先週は助戸東山の神輿にボランティア参加がありました。これも「誰かのため」の実践です。42日間の夏休み、家族や地域での生活が中心になります。夏休みを思い切り楽しみながら、「誰かのため」の行動をさげなくできたらいいですね。

朝顔見 神輿賽銭 子らの声 ヒコーク雲消え 花火おとし

